

邦·海·陸

[illegible]

佐

縣

戰病死

食糧事情切迫ノ爲患者ノ最數取レズ大部分ノ人健康恢復セズ

戦死者 6879

6879

悪性マラリヤ

昭和十八年十二月

ソロモン地区警備

全一年九月五日 ソロモン地区ブリン

昭和十七年九月二日

佐世保

二等兵曹

召集

水兵科

所屬部隊

八十七警備隊

現住所

右 同

本籍地

[Redacted]

嘉和十九年二月四日

花
七
病
所
ソ
ロ
モ
ニ
地
区
が
方
集

戰病死

狀况非常之憂、此三會程而更く藥白_ニ至_シテ_ク一_ニ配滿_ニ行_ク折_リ兩_方有_リ護

九十八

海軍三尋共習

THE

今

卷之八

一、調書法有：正、中、左、右、上、下、前、後、八種。

本
館
藏

現任所
合

所 屬 品 販
第一補丸部より一六補丸ト云々四ノ号製管雖、朱員入

天保十八年七月十五日 役圖 補丸矢候 兵部

宣
等
級
湯
家
義
永
生
月
日
香
入
號

阿地陸山出痘年月日
癸卯年九月廿二日
吳路榮

外埠到者年月日
照和八半在急馬武特為日
方以九九為

四十號、生疏、彈道係

御務ノ概要

發刊(受書)年月日

照取九平武員於九

别名(臺灣鹿位)

左眼黃通

發掘（壹場）又

戰死時ノ狀況

死亡年月日時刻及場所

昭和八年九月廿八日午後八時許於東京市豊島区大塚

右 申 付 人

昭和 年 月 日

氏 名	所 屬 部 隊	現 住 所	本 籍 地
ハタケ 金太郎	官 等 級		
入 隊 番 號	海軍二等兵中		

備 考

〔本調書ハ行政長又ハ職務取扱者等ニ於テ吳地方復興局人事部長宛通報シ非スト認
 ムルモノノミニ付記ス
 〔吳鎮在籍ノ特務士官・准士官・下士官・兵ニ付記ス
 〔同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記ス
 〔周知得シアル範圍ニ於テ出來ル限リ詳細ニ記ス
 〔他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該ニ相手方ヲ記ス
 〔送 付 先

吳市

吳地方復興局人事部長宛

54-10

姓名

國籍

職業

八海丸

生年

二十七年九月

生月

九月

生時

午後九時

生處

日本

死年

二十九年

死月

二月

死時

午後九時

死處

日本

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

死因

沈没

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

梅須

中尉(時)

海沈没時、當時艦長、金隊長

承ヨリ忠告部へ提出（不肖）承へ通知（善通）

ノモノニ拘束ナシ

六、戦後通和減額ナリケル推定理由

昭和十八年四月と四月八日十五日翌日商務主任ハ饒

木村司令ニ随伴シテハ戦後通和減額ノタメ内地ニ敗

退セシメ其ノ際ハ理ヲナサザリシモノト思科

七、其ノ他

本年三月 承ヨリ不肖ニある人々自心故

重ニ対シテ照人男ナリシヲ以テ洋網ニ自

戦後通和減額ヲ通知セリ

（終）

一死級共朝言

本籍地

現住所

所屬部隊

入隊年月

等級

所屬部隊

入隊年月

等級

所屬部隊

入隊年月

等級

高知縣

日頃、須賀島、佐原、岡谷、付、二、五、八、七、敬、請、

一月十日、役、種、現、役、兵、

上、工、曹、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

不、詳、

昭和拾八年十月七日 他部保出巻

第二海上輸送隊 第千代九乗組員

鹿児島市本野船

右者 死亡現認書

現認者

元千代九乗組員(警武兵) 一機曹

本籍

現住所

1. 戦死年月日 昭和拾九年四月二十二日

2. 場所 ニラギニア デムク 第一 建設部醫務室

3. 拾九年四月二十一日 朝六時頃 デムク東方約三キロに於テ

假泊中、第一千代九ニ米國機がツマニ四機ノ集

襲ニ依リ機銃射撃ヲ受テ第一千代九ハ沈没シ

全員泳グデ陸ニ上ラトスル時故 局ハ

下腹部ニミミ機銃弾の首貫シ假死ノ状態ニ落入り

上陸後直ニデムク海軍第一建設部醫務室ニリツク

ニ付レハセハ七分出血ヲ惹起シ遂ニ同年同月二十日

デムク醫務室ニテ死セリ



館 895

故

殿

証明書

昭和九年五月十日

南支五ラブルデン勸ラパウルにて

マラリヤ病にて歿死

せられおした事を証明致し奉る

昭和九年五月十日

第二二設営隊

第二中隊第一小隊

当時隊長

上
附

3/5-10

死 没 者 調 査 書			
本 籍 地	[REDACTED]		
現 住 所	[REDACTED]		
所 属 部 隊	警 務 部 警 務 課		
入 団 年 月	[REDACTED]	役 種	[REDACTED]
等 級	二等警士	年 令	[REDACTED]
内地港灣出張年月日	[REDACTED]	内地港灣出張	[REDACTED]
外地到着年月日	[REDACTED]	外地到着	[REDACTED]
勤務の概要	[REDACTED]		
死 亡 年 月 日	昭和十九年五月六日		
病名又は受傷事由	左側脳部		
死 亡 状 況	[REDACTED]		

死 亡 年 月 日	昭和十九年五月六日	死 亡 場 所	警 務 部 警 務 課	死 亡 原 因	脳 出 血
死 亡 時 の 状 況	[REDACTED]				
左の通り承知して[REDACTED]は[REDACTED]は[REDACTED]					
昭和二十二年[REDACTED]日[REDACTED]					
申 告 者	入 籍 番 号	等 級	海 軍 警 備 隊	氏 名	[REDACTED]
本 籍 地	[REDACTED]				
現 住 所	[REDACTED]				
所 属 部 隊	警 務 部 警 務 課				

備考

- 一本調査書は死没者の身上関係一切を處理するものなるから慎重に且つ詳細に記入して下さい。
- 他人から聞いて承知した事項は其の旨末尾余白に記入して下さい。

證明書

本籍地

大正 年 月 日生

(元海軍上等水兵)

一右者昭和十九年五月十四日頃三ノ半三ノ附近

海上航行中敵機兩機ト交戦左肩腹

部左大腿部ニ貫通銃創ヲ蒙リ二日後

アソホニ第二十警備隊病院ニ收容加

療中ト一口一週前後昭和十九年五月

二十日戰死候事

同警備隊村衛生兵トシテ將亦同村同

時應召ノ詔ヲ以テ同右最後迄一房
ノ看取りヲナセルコト
右相違無之契而茲實證候也

以上

(元アシボ第三千盛備隊二等衛生兵曹)

58478

本籍地

現住所

所属部

入隊年月

官職

内出離年月

除隊年月

勤務地

勤務(支店)年月

病名(支店)年月

備考(支店)

右同

第三十四通信隊

昭和十八年八月一日

職名

内出離(支店)年月

除隊(支店)年月

勤務地(支店)

勤務(支店)年月

病名(支店)年月

備考(支店)

(義死)

昭和十八年八月一日

職名

内出離(支店)年月

除隊(支店)年月

勤務地(支店)

勤務(支店)年月

病名(支店)年月

備考(支店)

五

明和二年三月三十一日

本
册
地

伍所

右同

For
his
two
part

知事西通
校閱信隊

氏名

人
家
三
子

自
一
被
、

海軍上等樞密

[illegible]